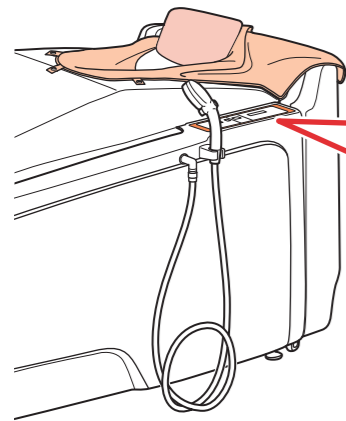


### 注意事項

- 入浴中はいかなる場合でも危険がないように、入浴者の状態に注意し目を離さないこと。
- 本紙は操作手順の簡易な記載ですので、詳細な注意事項、及び取扱方法に関しては必ず取扱説明書をお読みください。



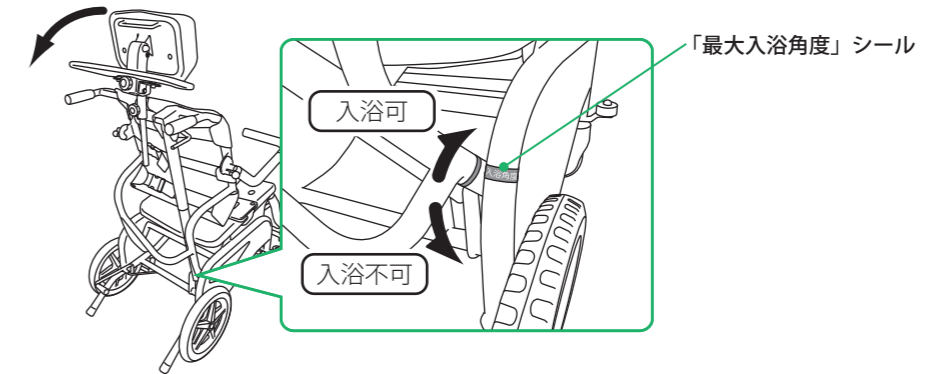
## 1 入浴準備

- 1 脱衣室等にある分電盤内の漏電ブレーカーを、ONにしてください。
- 2 設備側の給湯・給水バルブが開になっていることを確認してください。
- 3 ネットカーテンを取り付けます。
- 4 電源スイッチ “” をONにします。
- 5 本体シャワーの温度設定を行います。
- 6 準備表示ランプが点滅したら、準備スイッチ “” を押します。
- 7 湯温の確認をします。
- 8 入浴者をシャワーチェアに移乗させます。  
※ シャワーチェア座部に乗り移りさせる際は、必ずシャワーチェアのキャスターロックペダルをロックすること。

## 2 入浴

- 1 シャワーチェアを最大入浴角度の範囲でリクライニングさせます。
- 2 入浴者をシャワーブース内へ移動させます。
- 3 後輪キャスターをロックしてから、シャワーブースの扉を静かに閉めます。
- 4 入浴者の顔が出るようにカーテンをかけます。

- 5 調節スイッチ “” “” もしくは項目選択スイッチ “” “” を押し、お好みの湯量に調節します。  
※ 湯量は「多い・ふつう・少ない」の3段階に調節できます。
- 6 入浴スイッチ “” をONにして、本体シャワーを開始します。
- 7 石けん液スイッチ “” を押すと、本体シャワーに石けん液が一定量注入され、入浴者を簡易洗身します。  
※ 入浴者に危険がないよう常に確認すること。  
※ 本体シャワーを使用する際は、常に手で触れたり、温度表示により湯温を確認し、入浴者がやけどを負うことのないよう十分注意すること。



おまかせ入浴にて⑤～⑦の操作を自動で行うことができます。  
 操作手順は取扱説明書 (P.28) を参照してください。

## 3 出浴

- 1 入浴スイッチ “” をOFFにして本体シャワーを止めます。
- 2 入浴者にかけていたカーテンをめくり、扉を開きます。
- 3 後輪キャスターのロックを解除します。
- 4 介護者用押し取手を握り、シャワーブースからシャワーチェアを引き出します。
- 5 シャワーチェアのリクライニング状態を戻します。
- 6 石けん液が入浴者の身体に残っている場合は、ハンドシャワー等で洗い流してください。

## 4 終了

- 1 シャワーブースとシャワーチェア、ネットカーテンの清掃を行ってください。  
※ 詳しくは、取扱説明書 (P.33) を参照してください。
- 2 洗浄運転を行い、浴槽、シャワーチェアを洗浄します。  
※ 洗浄運転の操作手順は取扱説明書 (P.29) を参照してください。  
※ 洗浄運転使用時は必ず出浴した状態で行うこと。
- 3 電源スイッチ “” をOFFにします。
- 4 設備側の給湯・給水バルブを閉じてください。
- 5 脱衣室等にある分電盤内の漏電ブレーカーを、OFFにしてください。
- 6 浴室を換気し、乾燥させます。